

---

# 2018年度第2四半期決算説明会

2018年11月1日  
Hitz日立造船株式会社  
取締役会長兼社長 谷所 敬

## 目次

---

1. 2018年度第2四半期連結決算概況
2. 2018年度業績見通し
3. セグメント別詳細
4. 2018年度第2四半期事業トピックス
5. 補足資料（小セグメント）

---

# 1. 2018年度第2四半期連結決算概況

- **Inova社の収益悪化（英国EPC工事の採算悪化等）**
- **年間見通しは営業利益・経常利益を下方修正するも、受注高・売上高・最終利益は当初見通しを据え置き**

(億円)

	2017年度 2Q累計		2018年度 2Q累計		比較	
	(利益率)		(利益率)		(利益率)	
受注高	2,231		1,855		▲376	
売上高	1,623		1,532		▲91	
営業利益	(▲2.1%)	▲33	(▲5.5%)	▲84	(▲3.4%)	▲51
経常利益	(▲3.1%)	▲51	(▲5.6%)	▲86	(▲2.5%)	▲35
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(▲3.3%)	▲54	(▲5.0%)	▲76	(▲1.7%)	▲22

(億円)

	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	比較
環境・プラント	1,580	1,234	▲346
機械	441	425	▲16
インフラ	158	136	▲22
その他	52	60	8
計	2,231	1,855	▲376

(億円)

	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	比較
環境・プラント	1,010	879	▲131
機械	448	472	24
インフラ	114	127	13
その他	51	54	3
計	1,623	1,532	▲91

(億円)

	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	比較
環境・プラント	▲37	▲81	▲44
機械	3	▲5	▲8
インフラ	0	▲1	▲1
その他	1	3	2
計	▲33	▲84	▲51



(億円)

<b>2017年度2Q 営業利益</b>		<b>▲33</b>
<b>増減内訳</b>	・Inova社の収益悪化	▲49
	・その他コスト増加	▲2
<b>2018年度2Q 営業利益</b>		<b>▲84</b>

(億円)

	2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	比較
金利負担額	▲3	▲3	0
持分法による投資損益	0	3	3
その他営業外損益	▲15	▲2	13
営業外損益 計	▲18	▲2	16

# 2018年度2Q決算 連結キャッシュフロー計算書・有利子負債

(億円)

		2017年度 2Q累計	2018年度 2Q累計	比較
キャッシュ フロー	営業活動によるキャッシュフロー	87	0	▲87
	投資活動によるキャッシュフロー	▲41	▲41	0
	財務活動によるキャッシュフロー	▲146	4	150
	現金・現金同等物の増減額	(注1) ▲100	(注1) ▲41	59
	現金・現金同等物の期首残高	508	327	▲181
	現金・現金同等物の期末残高	408	286	▲122
		2018年 3月末	2018年 9月末	比較
有利子 負債	借入金	(注2) 972	(注2) 871	▲101
	社債	100	250	150
	合計	1,072	1,121	49

(注1)為替換算差額含む (2017年度2Q:0, 2018年度2Q:▲4)

(注2)リース債務を含む

---

## 2. 2018年度業績見通し

(億円)

	2017年度		2018年度 見通し				比較			
	実績 (a)		2018年 5月公表		2018年 8月公表 (b)		今回 (c)		対 前年度 (c) - (a)	対 8月公表 (c) - (b)
	(利益率)		(利益率)		(利益率)		(利益率)			
受注高	4,004		4,300		4,300		4,300		296	0
売上高	3,764		3,800		3,800		3,800		36	0
営業利益	(1.6%) 59		(3.3%) 125		(3.3%) 125		(2.4%) 90		31	▲35
経常利益	(0.9%) 33		(2.4%) 90		(2.4%) 90		(1.7%) 65		32	▲25
親会社株主に帰属 する当期純利益	(0.6%) 21		(1.3%) 50		(1.3%) 50		(1.3%) 50		29	0

(億円)

	2017年度	2018年度 見通し			比較	
	実績 (a)	2018年 5月公表	2018年 8月公表 (b)	今回 (c)	対 前年度 (c) - (a)	対 8月公表 (c) - (b)
環境・プラント	2,572	2,800	2,800	2,800	228	0
機械	984	1,000	1,000	1,000	16	0
インフラ	314	400	400	400	86	0
その他	134	100	100	100	▲34	0
計	4,004	4,300	4,300	4,300	296	0

(億円)

	2017年度	2018年度 見通し			比較	
	実績 (a)	2018年 5月公表	2018年 8月公表 (b)	今回 (c)	対 前年度 (c) - (a)	対 8月公表 (c) - (b)
環境・プラント	2,318	2,400	2,400	2,400	82	0
機械	1,006	1,000	1,000	1,000	▲6	0
インフラ	282	300	300	300	18	0
その他	158	100	100	100	▲58	0
計	3,764	3,800	3,800	3,800	36	0

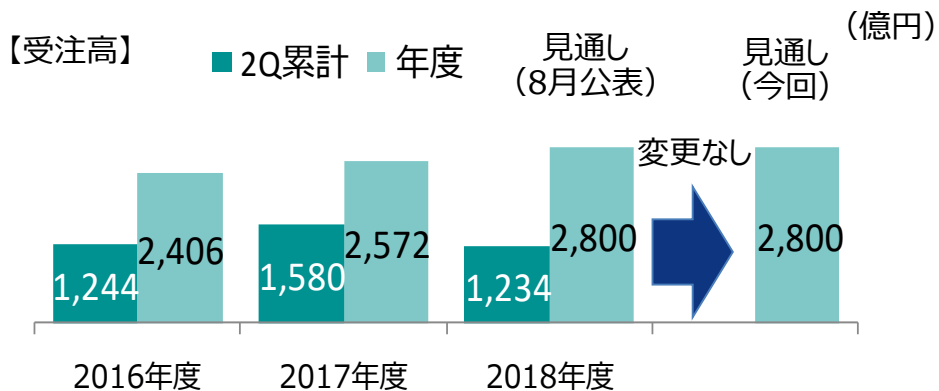
(億円)

	2017年度	2018年度 見通し			比較	
	実績 (a)	2018年 5月公表	2018年 8月公表 (b)	今回 (c)	対 前年度 (c) - (a)	対 8月公表 (c) - (b)
環境・ プラント	13	90	90	55	42	▲35
機械	25	20	20	20	▲5	0
インフラ	14	10	10	10	▲4	0
その他	7	5	5	5	▲2	0
計	59	125	125	90	31	▲35



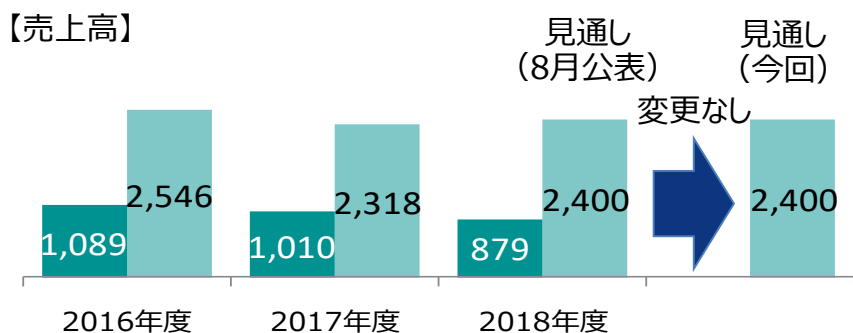
---

## 3. セグメント別詳細



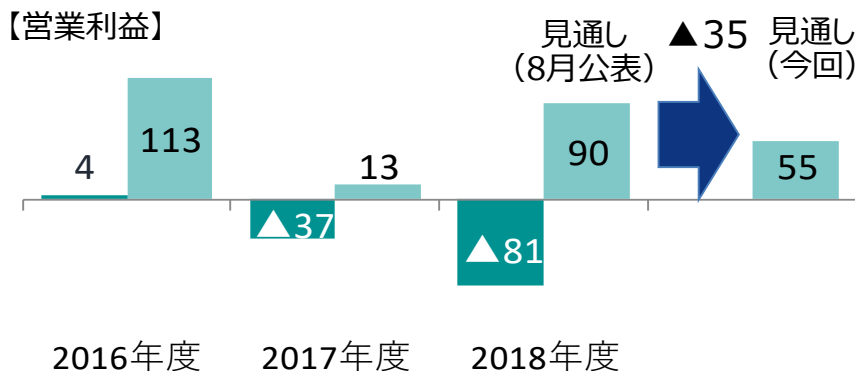
## 受注高

- 2Q実績 (前年2Q比)  
1,234億円 (▲346億円)  
・Inova社でEPC案件の減少 (下期ずれ)
- 年間見通し (8月公表比)  
2,800億円 (±0億円)  
・国内EPCの減少を国内継続的事業でカバー  
・Inova社で複数のEPC案件を見込む



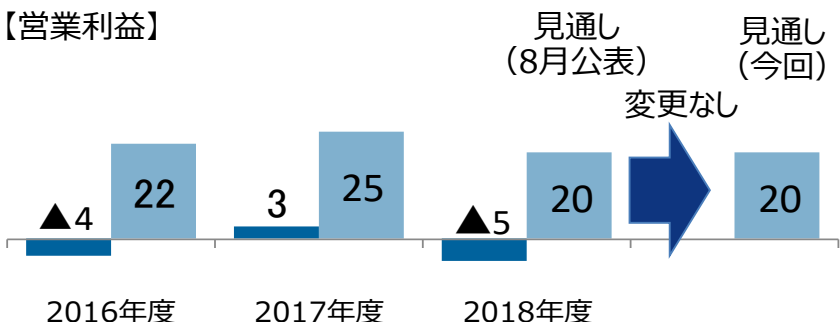
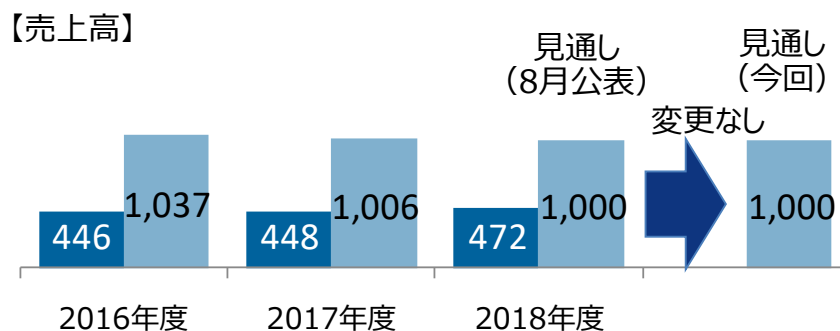
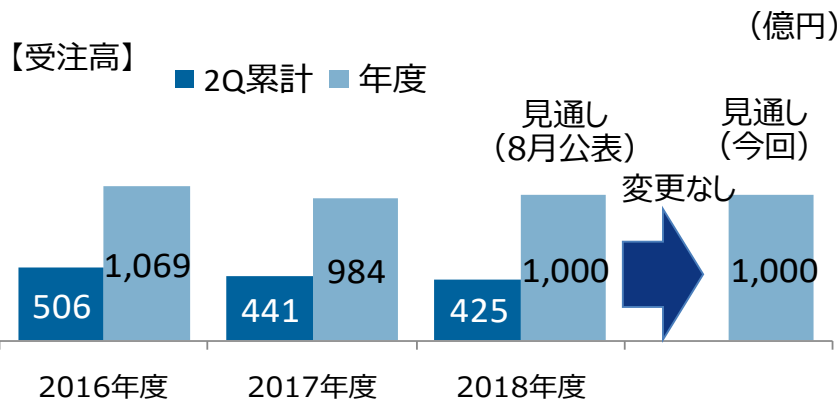
## 売上高

- 2Q実績 (前年2Q比)  
879億円 (▲131億円)  
・カタル向け海水淡水化プラント建設工事の出来高減少
- 年間見通し (8月公表比)  
2,400億円 (±0億円)  
・Inova社EPC案件の出来高減少を国内継続的事業でカバー



## 営業利益

- 2Q実績 (前年2Q比)  
▲81億円 (▲44億円)  
・Inova社の個別工事でコスト増加
- 年間見通し (8月公表比)  
55億円 (▲35億円)  
・国内継続的事業で増収効果あるものの、Inova社の個別工事におけるコスト増加をカバーしきれず



## 受注高

### ■ 2Q実績 (前年 2 Q比)

425億円 (▲16億円)

- ・プロセス機器の増加
- ・船用原動機の減少 (下期ずれ)

### ■ 年間見通し (8月公表比)

1,000億円 (±0億円)

- ・精密機械の減少を船用原動機等でカバー

## 売上高

### ■ 2Q実績 (前年 2 Q比)

472億円 (+24億円)

- ・プレスとプロセス機器の増加

### ■ 年間見通し (8月公表比)

1,000億円 (±0億円)

- ・精密機械の減少をプロセス機器でカバー

## 営業利益

### ■ 2Q実績 (前年 2 Q比)

▲5億円 (▲8億円)

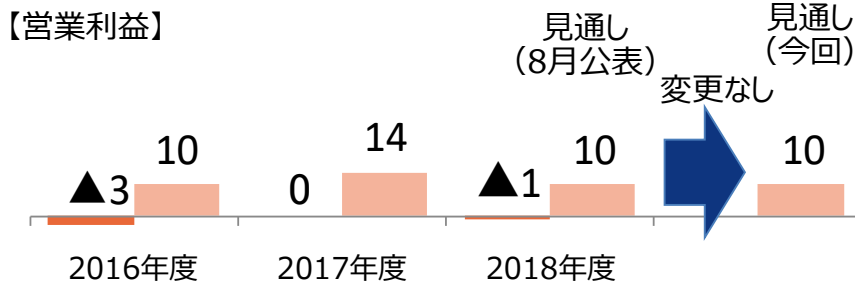
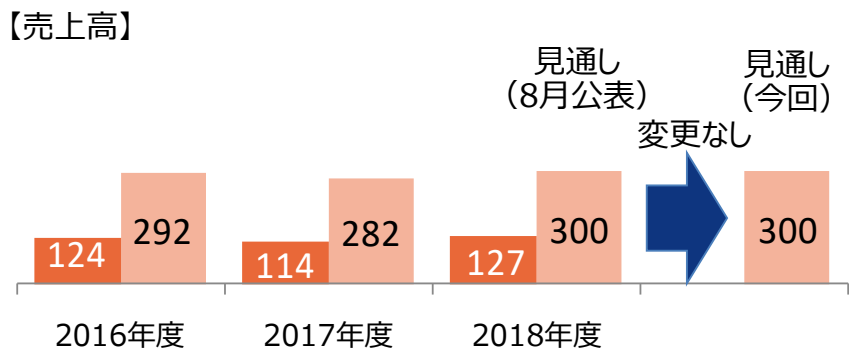
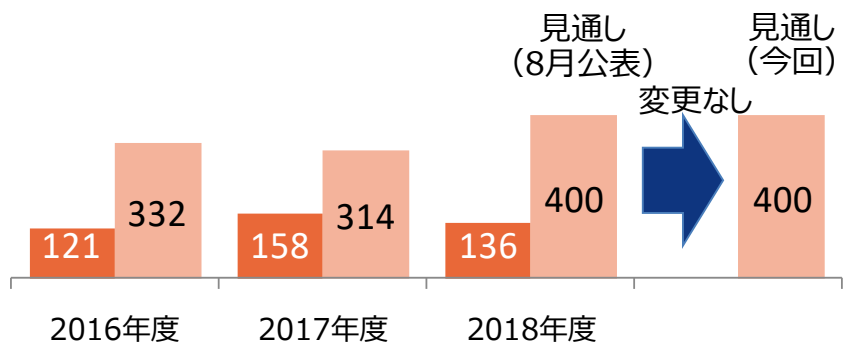
- ・プロセス機器の増収効果あるも、精密機械の収益悪化および船用原動機の収益改善の遅れをカバーしきれず

### ■ 年間見通し (8月公表比)

20億円 (±0億円)

- ・船用原動機の収益改善の遅れおよびプレスの減益をプロセス機器の増収効果でカバー

【受注高】 (億円)  
 ■ 2Q累計 ■ 年度



## 受注高

- **2Q実績 (前年2Q比)**  
 136億円 (▲22億円)  
 ・橋梁の減少をシールドでカバーしきれず
- **年間見通し (8月公表比)**  
 400億円 (±0億円)  
 ・シールド掘進機の伸長を見込む

## 売上高

- **2Q実績 (前年2Q比)**  
 127億円 (+13億円)  
 ・橋梁および水門の大口工事が増加
- **年間見通し (8月公表比)**  
 300億円 (±0億円)  
 ・下半期に橋梁を中心に売上増加

## 営業利益

- **2Q実績 (前年2Q比)**  
 ▲1億円 (▲1億円)  
 ・高採算工事の減少
- **年間見通し (8月公表比)**  
 10億円 (±0億円)  
 ・下半期の売上増加による収益改善を見込む

---

## 4. 2018年度第2四半期事業トピックス

(1) フェリーブリッジ2 プロジェクト

<プロジェクト概要>

- ・事業内容：EfW施設のEPC（処理能力：2,030t/d(1,015t/d×2炉)）
- ・完工予定日：（当初）2019年7月→（現状）2019年7～9月

<収益悪化要因と対応策>  
（収益悪化要因と内訳）

悪化要因	内訳
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型モジュール工法採用</li> <li>・ボイラー据付業者の契約解除</li> <li>・発注単位の細分化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイラー据付工事のコスト増加（37億円）</li> <li>・物量見込差（9億円）</li> <li>・工程遅延によるコスト増加等（12億円）</li> </ul>

↓

複雑さ・インターフェイスの拡大

↓

コスト把握の遅れ

(対応策)

プロジェクトチーム強化：

- ・プロジェクトダイレクター交代(8月)
- ・サイトマネージャー・SVの増員(8～9月)
- ・コストコントローラー交代・増員(6月)



2018年10月現在

## （2）エンジンバラプロジェクト

### ■プロジェクト概要

- ・事業内容：EfW施設のEPC（処理能力：465t/d）
- ・完工予定日：（当初）2019年5月→（現状）2019年2月～3月

### ■プロジェクト進捗状況

- ・ 順調に進捗。納期より早めに完工の見込。



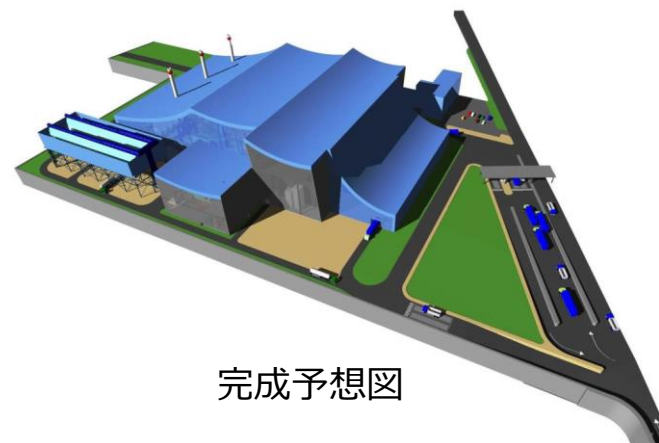
2018年10月現在



完成予想図

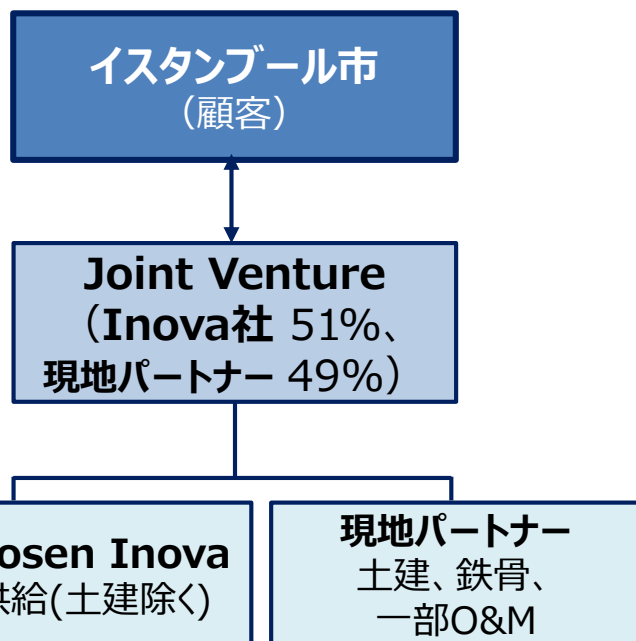
## ■プロジェクト概要

- トルコ初受注
- 事業内容：EfW施設のEPC+ 1年間のO&M
- 処理能力：3,000t/d (1,000t/d×3炉)
- 完工予定日：2020年10月



完成予想図

## ■契約形態



## ■リスクヘッジ

- エスカレーション条項付きの契約
- 為替リスクは現地パートナーが負担
- 工事代金回収リスクに対しては、貿易保険（SERV\*保険）でカバー

\* スイスの公的輸出信用機関で、日本のNEXIに相当

## ■プロジェクト進捗状況

- サイトでは、土工事実施中
- Inova社においては、詳細設計実施中
- 機械・電気工事は2019年中旬開始予定



## EPC事業の再構築・事業構成の改善で安定的な収益構造へ転換

### ■ EPC事業の再構築

- 受注プロセス・プロジェクト施工体制・Hitzガバナンスの強化

	項目	問題点	対応策	
			Inova社	Hitz
受注プロセス	案件選別	英国でのフルターンキー契約が多い	案件分散化（フルターンキー、システム・機器供給、Lot案件*等） 地元業者とのコンソーシアムによるリスク低減	受注時リスク評価・プライシングへの承認
	見積	単価・物量見込差が発生	受注プロセス担当部門の強化	見積コストの精査
施工体制	施工手法	大型モジュール工法(ボイラー)の採用	大型のモジュール工法は凍結	
		新規調達先(アジア)への発注	調達部門強化	
		コスト低減を狙った分離発注	調達方針の見直し (発注単位の適正化)	バンコクに調達拠点を設置
	プロジェクト管理	調達先増加に伴う管理業務負荷の拡大	調達先の削減 プロジェクトコントローラー増員 プロジェクトオフィス（モニタリング機能）の独立化	プロジェクトオフィスへのHitz人員派遣（2名）

\* Lot案件：焼却システム、排ガス処理システム、などプラント一式ではなくシステムごとに発注される案件

### ■ 事業構成の改善（EPC依存体質からの転換）

- サービス・再生ガス事業の拡大によるバランス改善を促進

## サービスビジネスの拡充は順調に進捗

### ■ 2018年度2Qの進捗状況

- 体制強化（組織・人員）およびサービスメニューの拡大（基幹改良工事の増加）を推進
- 英国サービス事業の合併会社を設立予定
- ドイツで基幹改良案件を受注（2件）

#### <英国のEfWプラントサービス市場環境>

- EfWプラント数：稼働中 42件（内Inova社 8件）、建設中 16件（内Inova社 2件）
- 2000年代後半以降に営業開始したプラント多く、基幹改良工事の需要増が見込まれる。

#### <ドイツのEfWプラントサービス市場環境>

- EfWプラント数：稼働中 80件（内25年以上稼働 50ライン以上）
- メンテナンス需要増加傾向：既存プラントの老朽化対応

### Inovaグループサービス事業の推移

(億円)

	2017年度		2018年度		比較	
	2Q累計 (a)	年間 (A)	2Q累計 (b)	年間* (B)	2Q累計 (b)-(a)	年間 (B)-(A)
受注高	23	51	37	83	14	32
売上高	35	54	30	58	▲5	4

\*見通し



## 操作不要の水害対策設備の普及で持続可能な防災・減災社会を実現

### ■ 社会問題

- 津波、高潮、豪雨などによる浸水被害
- 防災設備の操作員の被災リスク

### ■ ソリューション：フラップゲート式水害対策設備の開発・普及

- 動力や人手を介さず自然の力を活用して確実に開口部の自動閉鎖が可能。

#### ① 陸上設置型（neo RiSe®シリーズ）

- 港湾の防潮壁、ビルエントランス・地下鉄入口の防水壁、ビル壁面開口部の止水設備

採用実績90基以上（2018年9月末）

#### ② 海底設置型

- 港湾の可動防波堤、波除堤

初受注：岩手県/大船渡漁港海岸（細浦地区）向け

※堺工場にて製作中（2020年3月竣工予定）



neo RiSe®

### ■ 海外展開に向けた取り組み

- 海外におけるライセンスビジネスの推進。
  - 台湾企業とライセンス契約を締結し、2018年6月に現地1号機（実証機）を設置。
- 海外での普及に向けて、製品開発を進める。

## ICT活用の拠点「Hitz先端情報技術センター（A.I/TEC）」の運用開始

### ■ A.I/TECの機能

- 本社ビル内で行っていた発電施設等の24時間の監視・運転支援体制を移管。
- AIを含むICTを駆使して、データを収集・蓄積、分析、可視化。
- 得られた知見を当社の全事業・全商品を対象としたAOMサービスの提案や事業企画の創出に結びつけ、事業領域の拡大を目指す。



外観



遠隔監視・運転支援エリア

---

## 5. 補足資料（小セグメント）

# 計数計画（環境・プラント部門 小セグメント 2Q累計）

		2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計 (a)	2018年度 2Q累計 (b)	比較 対 前年同期 (b)-(a)	(億円)
受注高	EPC(新規建設)	491	615	595	334	▲261	
	継続的事業	864	629	985	900	▲85	
	計	1,355	1,244	1,580	1,234	▲346	
売上高	EPC(新規建設)	560	617	505	385	▲120	
	継続的事業	394	472	505	494	▲11	
	計	954	1,089	1,010	879	▲131	
営業利益	EPC(新規建設)	7	▲19	▲49	▲94	▲45	
	継続的事業	9	23	12	13	1	
	小計	16	4	▲37	▲81	▲44	

# 計数計画（環境・プラント部門 小セグメント 年間）

（億円）

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2018年度	2018年度	比較	比較
		実績	実績	実績 (a)	見通し 5月公表	前回見通し 8月公表 (b)	今回見通し 11月公表 (c)	対 前年度 (c)-(a)	対 前回 (c)-(b)
受注高	EPC(新規建設)	1,273	1,170	868	1,450	1,450	1,390	522	▲60
	継続的事業	1,564	1,236	1,704	1,350	1,350	1,410	▲294	60
	計	2,837	2,406	2,572	2,800	2,800	2,800	228	0
売上高	EPC(新規建設)	1,226	1,300	974	1,150	1,150	1,060	86	▲90
	継続的事業	1,190	1,246	1,344	1,250	1,250	1,340	▲4	90
	計	2,416	2,546	2,318	2,400	2,400	2,400	82	0
営業利益	EPC(新規建設)	5	▲49	▲126	▲35	▲45	▲90	36	▲45
	継続的事業	143	162	139	125	135	145	6	10
	計	148	113	13	90	90	55	42	▲35



# 計数計画（機械部門 小セグメント 2Q累計）

		2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計	2017年度 2Q累計 (a)	2018年度 2Q累計 (b)	比較 対 前年同期 (b)-(a)	(億円)
受注高	船用原動機	107	122	90	52	▲38	
	プレス	120	130	131	134	3	
	プロセス	57	46	21	40	19	
	精密機械	91	128	124	105	▲19	
	その他	78	80	75	94	19	
	計	453	506	441	425	▲16	
売上高	船用原動機	127	110	75	80	5	
	プレス	112	118	115	125	10	
	プロセス	65	69	73	79	6	
	精密機械	94	80	120	121	1	
	その他	78	69	65	67	2	
	計	476	446	448	472	24	
営業利益	船用原動機	▲13	▲2	▲5	▲9	▲4	
	プレス	15	14	5	3	▲2	
	プロセス	0	▲7	▲1	4	5	
	精密機械	▲7	▲5	7	1	▲6	
	その他	▲8	▲4	▲3	▲4	▲1	
	計	▲13	▲4	3	▲5	▲8	

# 計数計画（機械部門 小セグメント 年間）

(億円)

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2018年度	2018年度	比較	比較
		実績	実績	実績 (a)	見通し 5月公表	前回見通し 8月公表 (b)	今回見通し 11月公表 (c)	対 前年度 (c)-(a)	対 前回 (c)-(b)
受注高	船用原動機	354	208	177	185	185	195	18	10
	プレス	229	236	229	215	215	215	▲14	0
	プロセス	169	183	151	160	160	160	9	0
	精密機械	171	287	270	270	270	255	▲15	▲15
	その他	149	155	157	170	170	175	18	5
	計	1,072	1,069	984	1,000	1,000	1,000	16	0
売上高	船用原動機	254	255	204	210	210	210	6	0
	プレス	234	241	244	210	210	210	▲34	0
	プロセス	160	164	137	160	160	165	28	5
	精密機械	230	218	270	260	260	250	▲20	▲10
	その他	167	159	151	160	160	165	14	5
	計	1,045	1,037	1,006	1,000	1,000	1,000	▲6	0
営業利益	船用原動機	▲26	▲4	▲3	▲5	▲5	▲8	▲5	▲3
	プレス	27	23	10	10	10	8	▲2	▲2
	プロセス	9	0	3	2	2	7	4	5
	精密機械	▲10	2	15	12	12	12	▲3	0
	その他	▲8	1	0	1	1	1	1	0
	計	▲8	22	25	20	20	20	▲5	0



# 地球と人のための技術をこれからも

日立造船はつないでいきます。かけがえのない自然と私たちの未来を。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

**Hitz**  
Hitachi Zosen

日立造船株式会社

<http://www.hitachizosen.co.jp/>